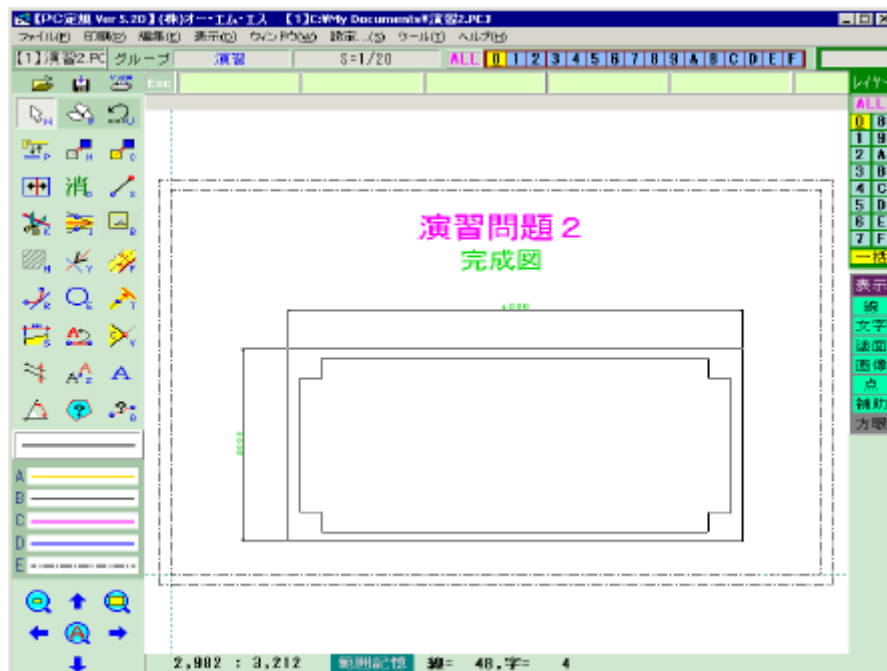


* 演習問題 2 (寸法線とタイトルをつける) *



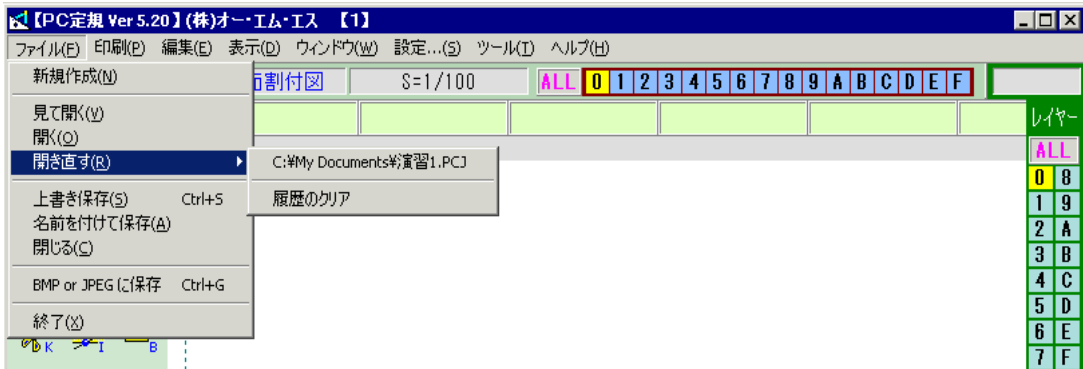
上図のように寸法線とタイトルをつけていきます。

演習問題 2」では次の手順で作成していきます。

- Step 1 演習問題 1」で保存した図面を開く
- Step 2 寸法線、文字サイズを設定する
- Step 3 (寸法線)コマンドで寸法線をつける
- Step 4 (ブロック移動)コマンドでレイアウトを調整する
- Step 5 (文字入力)コマンドでタイトルをつける
- Step 6 (文字移動)コマンドでタイトルの位置を調整する

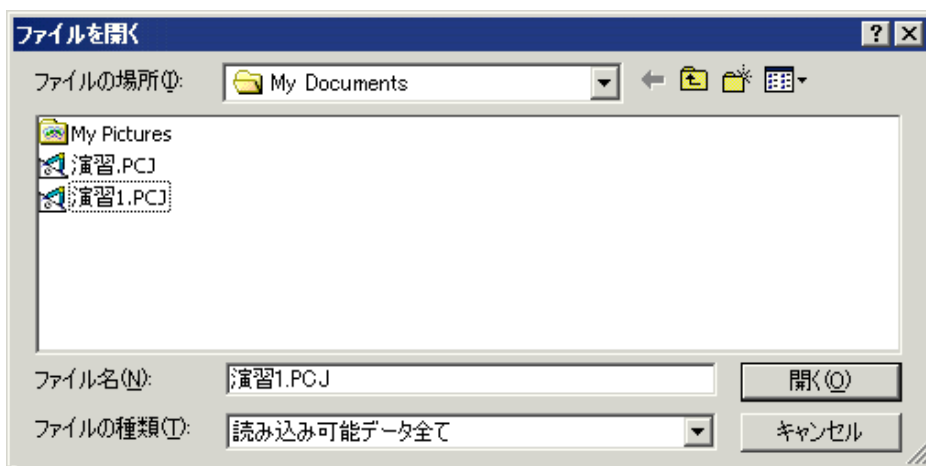
Step 1 「演習問題 1」で保存した図面を開く

- (1) PC定規を立ち上げる。
- (2) 画面上部のメニューバー『ファイル(F)』をクリックし、『開き直す (R)』に矢印を乗せると、右側に履歴が表示される。
- (3) **演習問題 1 Step 7**」で保存したファイル名が履歴として残っているのでクリックし、保存した画面を表示させる。
(ここでは「C:\My Documents\演習 1.PCJ」のファイル名が残っています。)



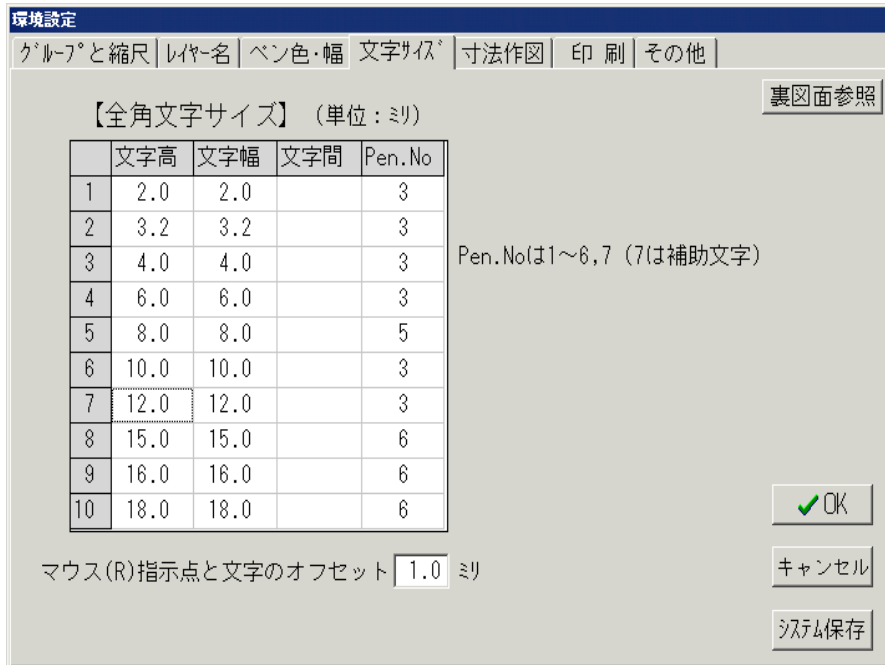
(保存後、保存する場所や名前を変更した場合は、例えファイル名が履歴に残っていても呼び出すことは出来ません。)

- (4) 『開き直す (R)』で履歴に残っていなかった場合や、ファイルを移動してしまった場合には、メニューバー『ファイル(F)』から『開く(O)』をクリックし、『開く』画面を表示させる。
- (5) 表示された画面から、保存したファイルを選択し、『開く(O)』ボタンをクリックする。
これで、保存した図面が表示される。

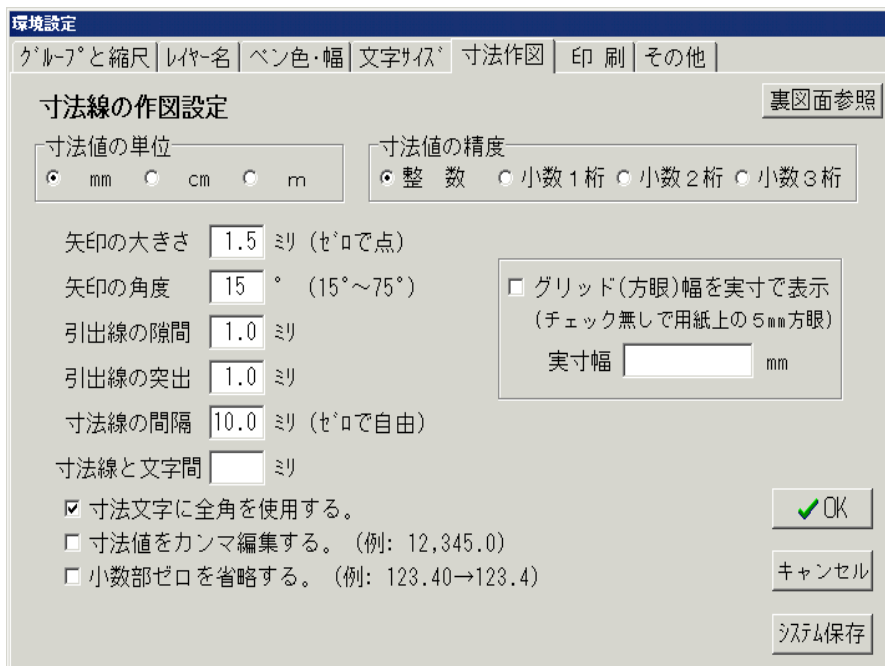


Step 2 寸法線、文字サイズを設定する


- (1) 画面上部のメニューバー『設定..(S)』をクリックし、『環境設定』画面を表示させる。
- (2) [文字サイズ]タブ(上部見出し部分)をクリックして表示させ、[7]の「文字高」と「文字幅」に を、「Pen.No」に 、[8]の「文字高」と「文字幅」に を「Pen.No」に を入力し、Enterキーを押して確定する。

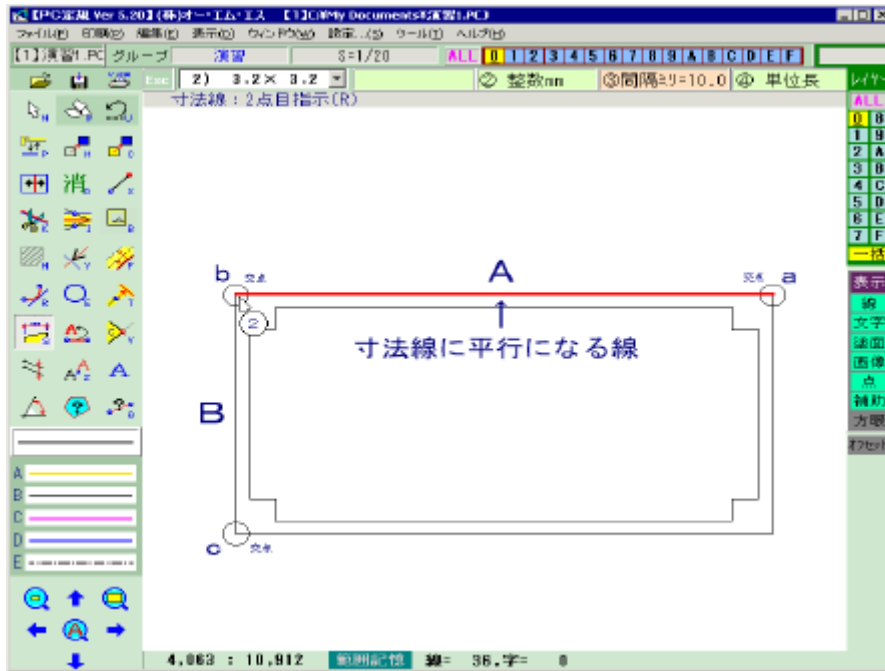


- (3) 続けて [寸法作図] タブをクリックして表示させる。
 - (4) [寸法線の作図設定]の「矢印の大きさ」に 「矢印の角度」に 「引出線の隙間」に 「引出線の突出」に 「寸法線の間隔」に を入力し、[寸法値の単位]が「mm」に、[寸法値の精度]が「整数」にチェック(黒丸)が入っているかを確認し、良ければ「OK」ボタンをクリックする。
- これで、文字サイズと寸法線が設定される。

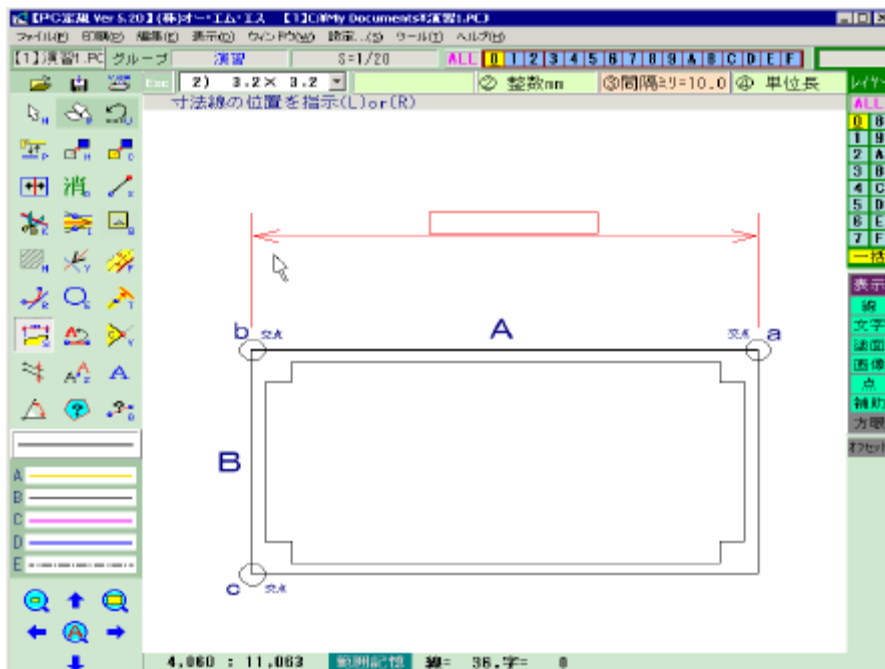



Step 3 〔付法線〕コマンドで寸法線をつける


- (1) コマンドアイコン  (寸法線) をクリックする。
- (2) 図面の上側に寸法線をつけたいので、まず、寸法線に平行となる「A」線をクリックする。
- (3) 寸法を付けたい区間の始点となる「a」点を、次に終点となる「b」点を**右**クリックする。

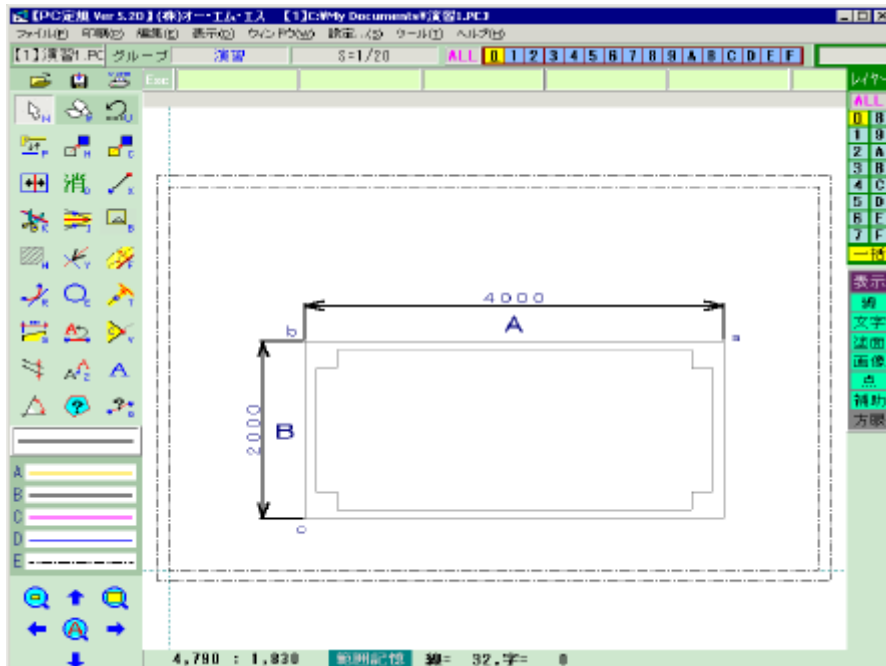


- (4) 「A」線上に寸法線が設定されるので、上に引き延ばし、適当な位置でクリックする。
これで、図面の上側に寸法線がつく。




- (5)  (寸法線) アイコンをクリックし、「A」線と平行となる寸法線作成のコマンドから抜ける。
(作成した寸法の範囲をクリックしても、現在のコマンドから抜けることができます。)

- (6)  (寸法線) コマンドは生きているので、(2)~(4)を参考にして左部の「B」(b c)線にも寸法線をつける。
これで、図面に寸法線がつく。



Step 3」
完成図

- (7)  (ニュートラル) アイコンをクリックし、現在のコマンドから抜ける。

ポイントアドバイス


Step 2」で寸法線の間隔を「10.0」ミリに指定している為、寸法線を引き延ばす際、指定された間隔毎にしか寸法線が移動しません。

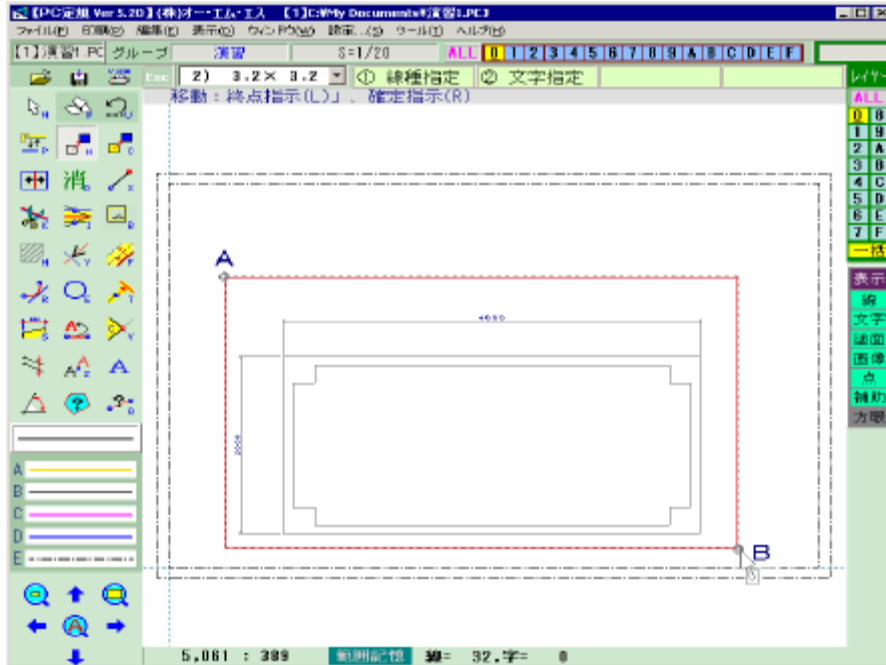
変更する場合は、サブメニュー [間隔ミリ:10.0] をクリックし、任意の数字を入力すれば、その時に限り有効です。図面作成中、常に有効にさせたい場合は Step 2」の設定時に、[寸法線の間隔] を任意の数字を入力し直して下さい。


また、間隔に「0」を入力すれば、間隔を一定させずに自由な位置に寸法線を作成する事が出来ます。

Step 4

【ブロック移動】コマンドでレイアウトを調整する

- (1) コマンドアイコン  [H.ブロック移動] をクリックする。
- (2) 図面全体を移動させ、レイアウトを調整をしたいので始点となる「A」点を、次に終点となる「B」点をクリックして移動範囲を指定する。（移動対象が赤色で表示されます。）





- (3) サブメニュー [確定] をクリックし、移動範囲内 (赤色枠内) の適当な位置をクリックして、基準点を決める。
- (4) 図面の上部にタイトルが入ることを頭に置きながら、作成枠の中央に図面が位置するように移動し、クリックする。（正しいと思う位置になるまで(2)~(4)を繰り返して下さい。）
これで、図面が正しく配置される。
- (5)  [N.ニュートラル] アイコンをクリックし、現在のコマンドから抜ける。

【onポイントアドバイス】

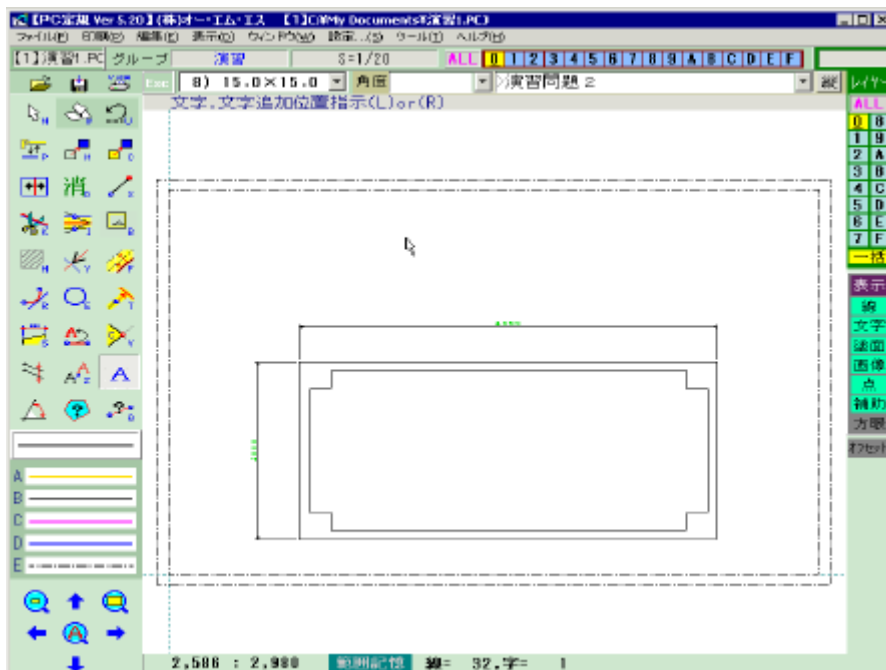
「Step 4」の(3)で、移動範囲を確定した後、サブメニュー [方向 (Free)] をクリックすれば、上下、左右のみへの移動も可能となります。
位置を微調整するときなどに便利です。

Step 5 文字入力]コマンドでタイトルをつける

- (1) コマンドアイコン .文字入力]をクリックする。
- (2) サブメニューの表示位置に文字入力バーが表示されるので、**演習問題 2** を入力後 Enterキーを押して確定する。
- (3) 文字サイズを「Esc」コマンド右横の  ボタンをクリックしてリストを呼び出し、「Step 2」で設定した、[8) 15.0×15.0]をクリックする。




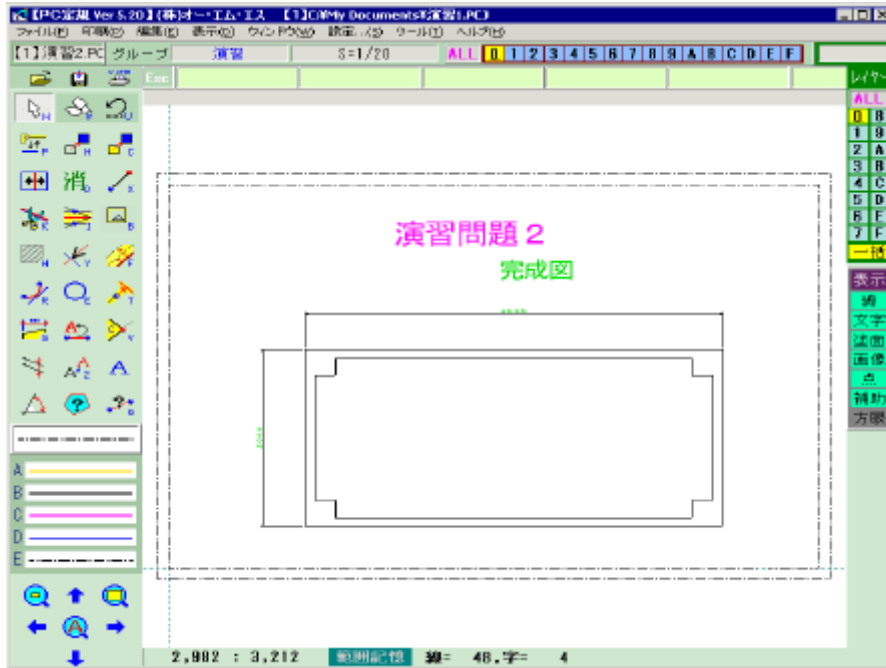
- (4) 作成した図面の上部の適当な位置をクリックする。



- (5) 同様に、**完成図** を文字サイズ [7) 12.0×12.0] で入力し、適当な位置をクリックする。

これで、図面に文字が入る。

- (6) .ニュートラル]アイコンをクリックし、現在のコマンドから抜ける。



「Step 5」
完成図


《ワンポイントアドバイス》

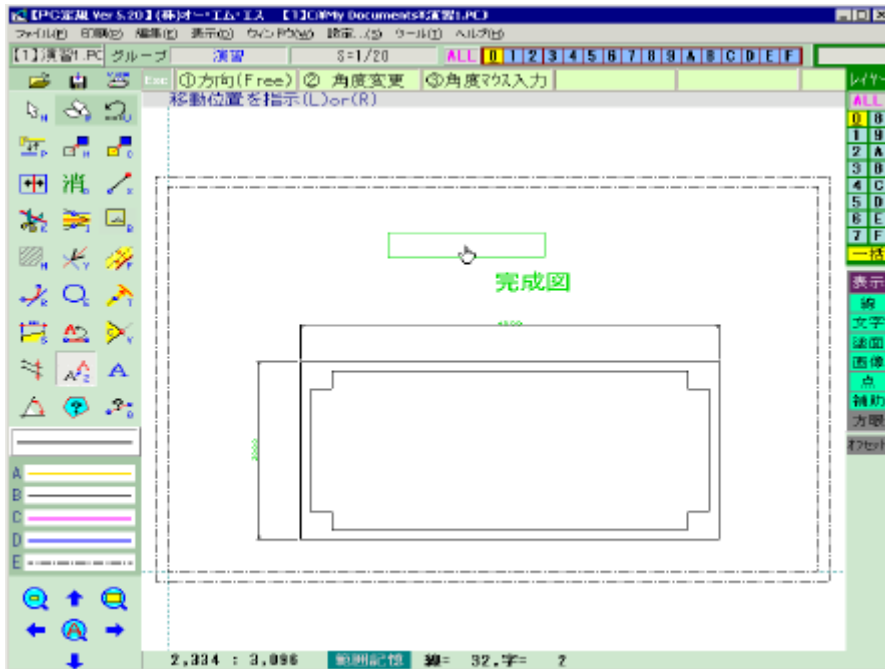
演習では、文字入力後に記入場所をクリックしましたが、記入場所を先にクリックしてから文字を入力しても同じ事になります。その場合は、文字を入力後、文字を確定するために『Enterキー』を押し、さらにもう一度、文字入力実行の為に『Enterキー』を押す必要があります。

文字の配置位置は簡単に直せるので、『Step 5』ではレイアウトを気にせずに文字を入力しました。

Step 6

【文字移動】コマンドでタイトルの位置を調整する

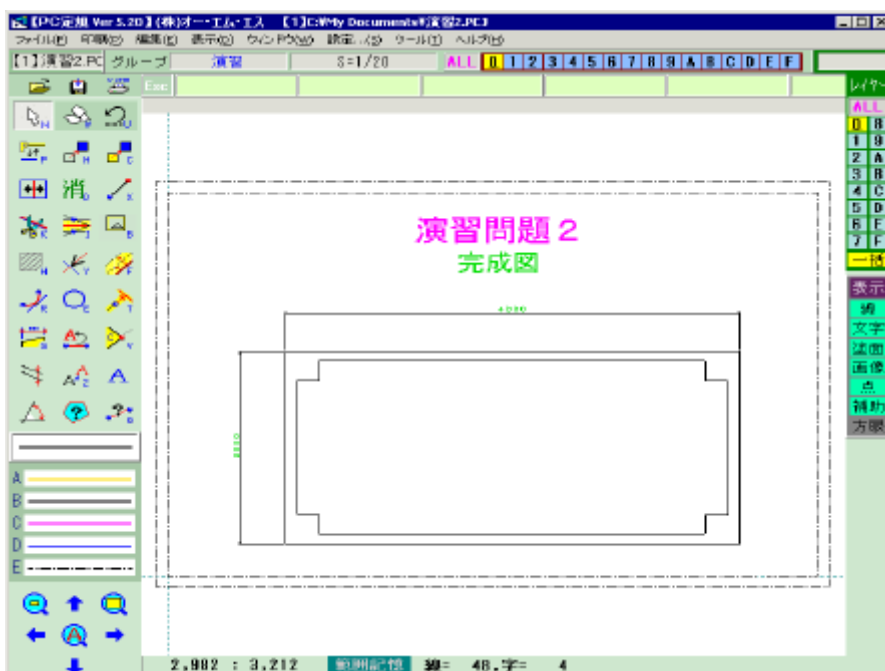
- (1) コマンドアイコン  (文字移動) をクリックする。
- (2) 位置を調整したい文字をクリックすると、文字の大きさに合わせた枠が表示され、指の形をしたカーソルにくっついて枠が移動する。




- (3) 文字位置の正しいと思う場所をクリックする。
(正しいと思う位置になるまで(2)～(3)を繰り返して下さい。)

- (4) 同様にして、「完成図」の文字も調整する。

これで、文字位置が調整され、図面が完成する。



「Step 6」
完成図

- (5)  ニュートラル)アイコンをクリックし、現在のコマンドから抜ける。
- (6) 画面上部のメニューバー『ファイル (F)』をクリックし、続けて『名前を付けて保存 (A)』をクリックする。
- (7) 『名前を付けて保存』画面が表示されるので [ファイル名 (N)] に適当な名前 (演習 2 など) を入力し、 [保存 (S)] ボタンをクリックする。

○ンポイントアドバイス

文字を移動する際、サブメニュー [方向 (Free)] をクリックする事で上下、左右のみへの移動も可能となります。位置を微調整するときなどに便利です。